

平成27年 3 月期 連結決算説明資料



2015年6月5日

証券コード 2813



事業内容

北海道の新鮮な食材をもとに、スープ、たれ、天然エキスやブイヨンを作り出す、業務用調味料の専門メーカー。

和弘食品の名前になじみは無くとも、その味は数々の食品メーカーやホテル、レストラン、スーパーマーケット、コンビニエンスストア等を通じて全国に広く浸透し、北海道のスープトップメーカーとして高い評価を戴いている。

会社概要

本社	北海道小樽市銭函3丁目504番地1
代表者	代表取締役社長 和山 明弘
設立	昭和39年3月30日
資本金	1,413百万円
営業目的	各種スープの製造・販売、各種天然エキスの製造・販売
従業員数	【連結】169名 【単体】159名（左記従業員以外に臨時社員等を年間平均75名雇用。）

- 1 . 平成27年 3 月期 決算概要
- 2 . 平成27年 3 月期 取り組み
- 3 . 平成28年 3 月期 業績予想
- 4 . 参考資料

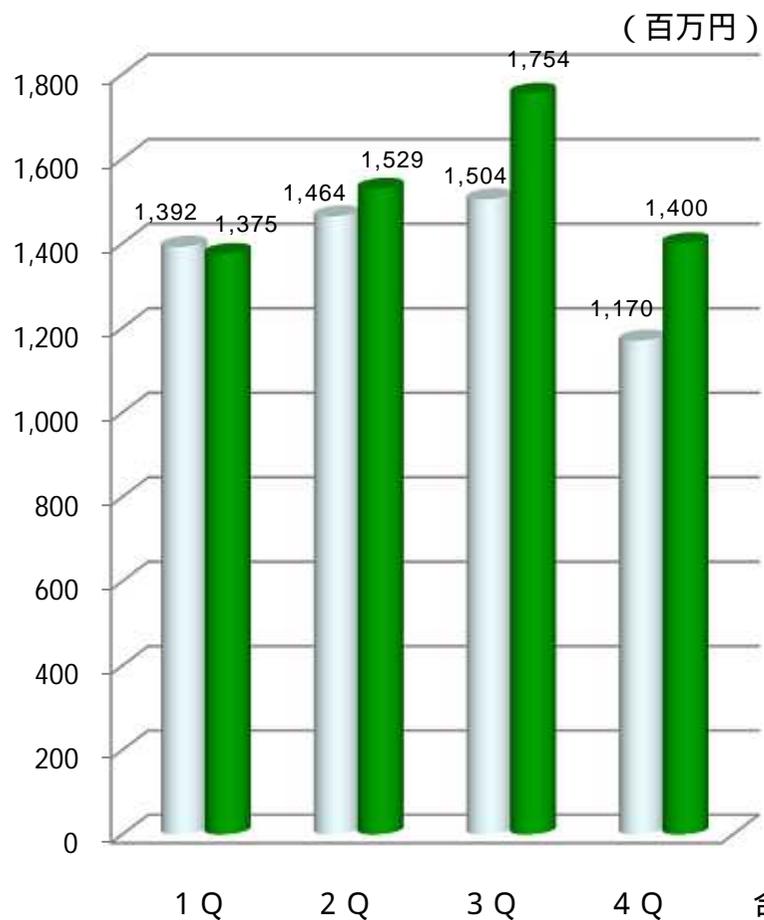
1 . 平成27年 3 月期 決算概要

- 増収増益。当初計画達成。売上高は初の60億円突破。
- 連結売上高は業務用製品が牽引。
業務用製品は428百万円の増収。
〔 売上高：前期比9.5%増 予算比4.0%増 〕
- 売上原価率、販管費率を前期とほぼ同水準に抑え、増益。
〔 営業利益は、前期比40.2%増の146百万円
経常利益は、前期比75.5%増の312百万円
当期純利益は、前期比56.4%増の124百万円 〕
- 外貨建資産は、主に米国子会社に対する金銭債権であり、為替変動の影響により、175百万円の為替差益が発生。

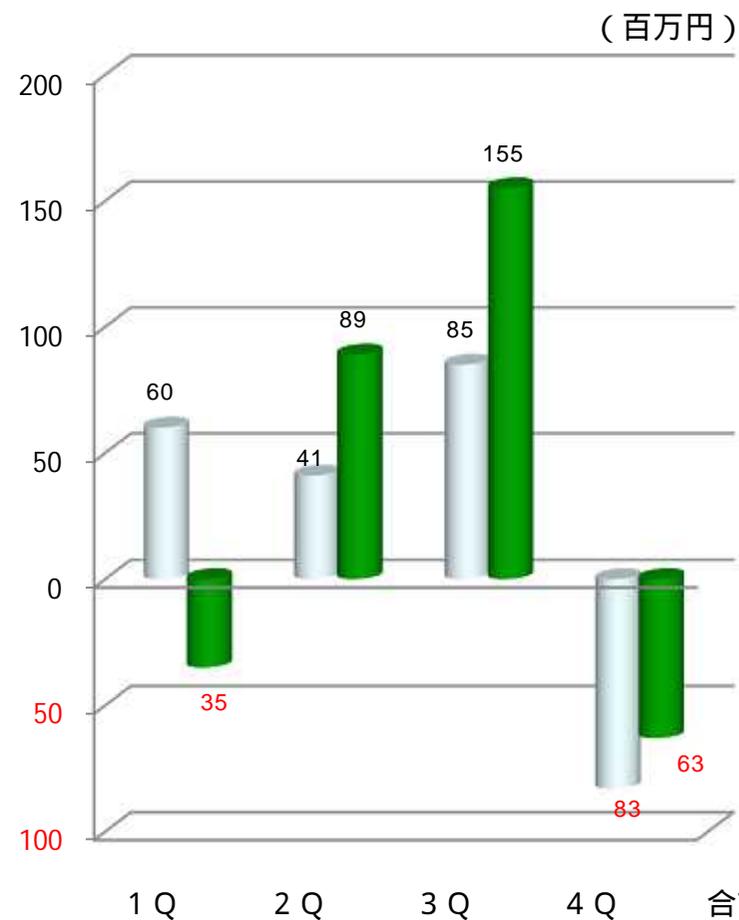
連結損益計算書概要

区分	平成26年3月期 (実績)	平成27年3月期 (当初予想)	平成27年3月期 (実績)	対前年増減	対予想増減	ポイント
	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)	
売上高	5,533,177	5,825,000	6,060,482	527,305	235,482	展示会、試食提案会等の積極的な取り組みにより市場開拓、拡販に成功。また提案型営業が奏功し、好調に推移。前期比527百万円増。
売上総利益	1,343,061	1,348,617	1,492,544	149,483	143,927	原材料の高騰による影響を受けたが、売上原価率は前期とほぼ同水準に抑える事に成功。
営業利益	104,135	40,437	146,019	41,883	105,581	米国子会社では、工場稼働後を見据えた営業活動を積極的に推進しており、販管費負担が増加したが、営業利益率は前期とほぼ同水準を維持。
経常利益	177,779	23,457	312,034	134,255	288,577	主に米国子会社に対する外貨建金銭債権より為替差益が175百万円発生。
当期純利益	79,565	84,242	124,464	44,899	208,706	

売上高



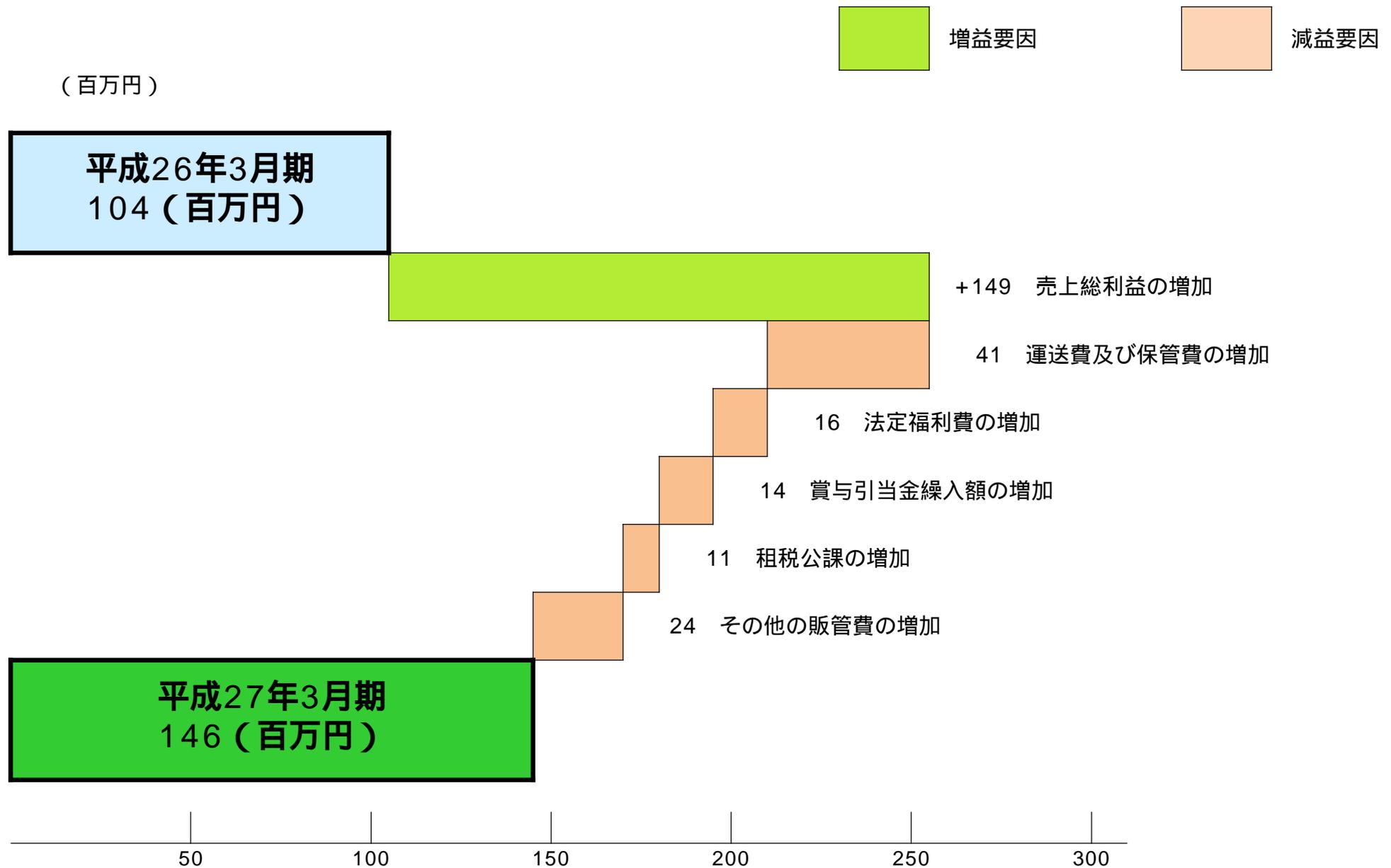
営業利益



品目別売上高

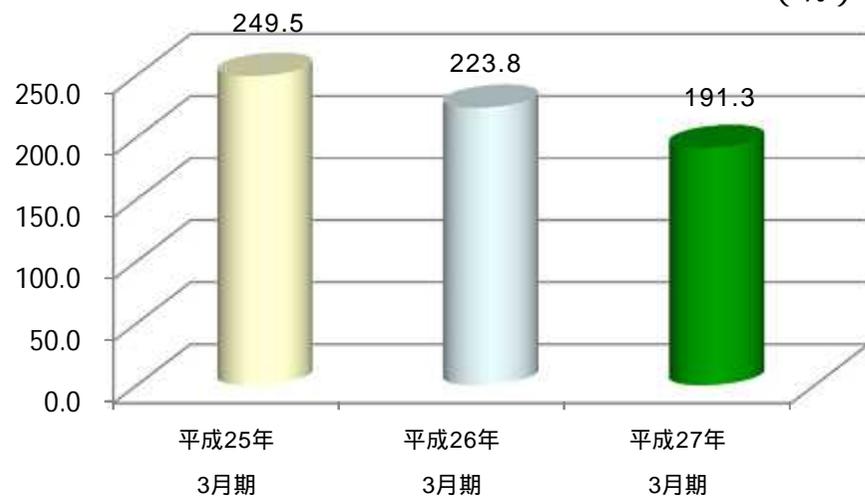
品目 (百万円)	平成26年3月期 売上高	平成27年3月期 売上高	増減額	前期比(%)
別添用製品	2,659	2,666	7	100.3
別添ラーメン	1,787	1,726	60	96.6
別添めんつゆ	266	281	14	105.5
別添冷し	209	180	29	85.8
別添用その他	396	479	82	120.9
業務用製品	2,329	2,758	428	118.4
業務用ラーメン	1,696	1,875	179	110.6
業務用めんつゆ	126	134	7	106.1
業務用畜肉	82	86	3	104.6
業務用その他	424	662	238	156.0
天然エキス	274	284	9	103.5
天然エキス畜肉	76	78	1	102.2
天然エキス水産	198	206	8	104.1
商品等	268	350	81	130.4
商品	259	342	83	132.3
その他	9	7	1	79.5
合計	5,533	6,060	527	109.5

営業利益増減分析



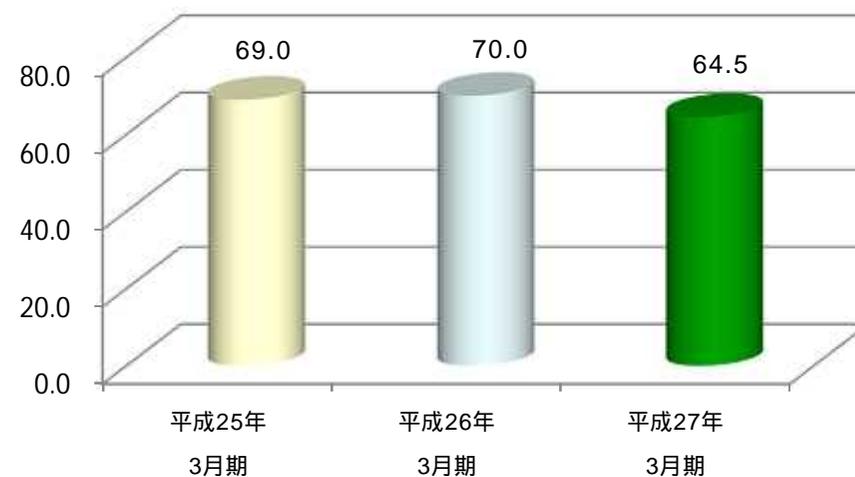
流動比率

(%)



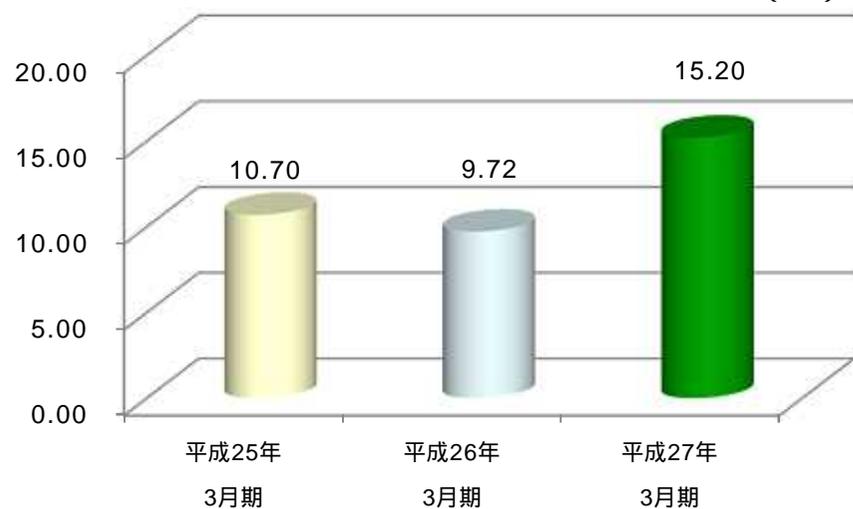
自己資本比率

(%)



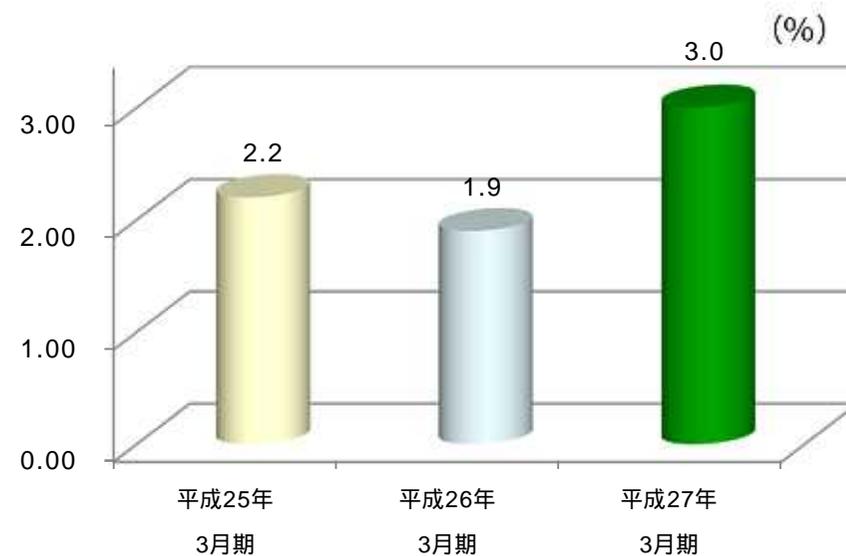
1株当たり当期純利益

(%)



自己資本当期純利益率

(%)



2 . 平成27年3月期 取り組み

- お客様に合わせたオーダーメイド・PB製品の提案から開発、製造、販売までを一手に承る提案型営業。
- 長年の経験により築きあげた独自の生産管理体制とノウハウが可能にした多品種少量生産システム。
- 品質と安全を保証する最新鋭設備を備えた生産工場。
(ISO 9001:2008認証、HACCP認証を取得)
- 10万点を超えるストックレシピと多岐にわたる試作経験からお客様の求める味を具現化できる商品開発力。

更なる成長

提案型営業の強化

外食・中食向け業務用調味料市場の開拓、拡販を図るため、各種展示会への参加、試食提案会を積極的に行う。

開発力強化

開発スタッフを同行した営業活動を積極的に推進することで、スピーディーで的確な開発業務を行うとともに、技術レベルの向上を図る。

品質・生産性の強化

カイゼン活動に注力し、品質と生産性向上を目指すとともに原材料費の上昇を抑制すべく購買業務の見直しを図る。

品質保証業務の充実を図るべく品質保証室の体制強化。

更なる成長

海外戦略

米国

米国子会社は日本本社からの輸入商品を販売するとともに、H27.7月予定の工場稼働に向け、工場内には生産設備が設置され、竣工へ向け急ピッチで工事が進められている。

営業活動は工場が稼働次第、即受注生産を可能とすべく、見込客の確保に注力。

アジア

東京支店に担当者を配置し、香港を中心に専門商社を通じた拡販に注力。

日本から進出した外食チェーン店や現地の日本食レストラン等、幅広いニーズに対応したメニューやレシピ提案で、地域に根差した事業展開を推進。

更なる成長

広告宣伝

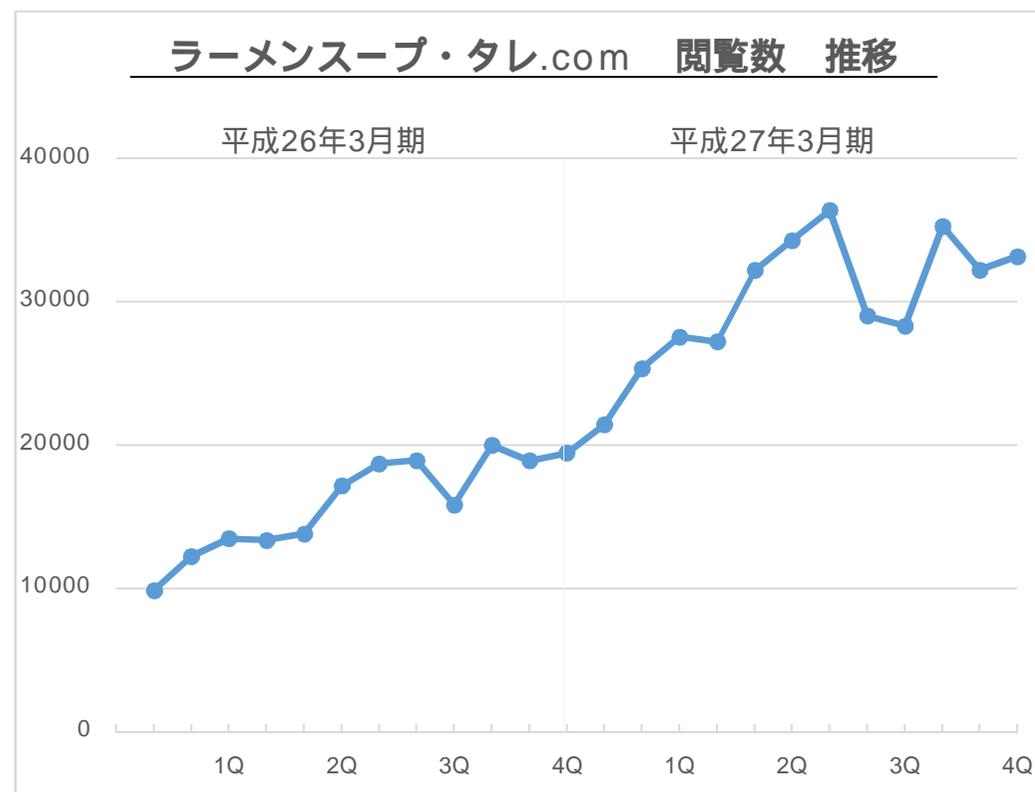
「ラーメンスープ・タレ.com」の充実を図り、ラーメン関連業界向けのアピールを強化。

サイト閲覧数は順調に増加。

<http://www.ramensoup-tare.com/>

「ラーメンスープ・タレ調味料総合カタログVol.2」を製作し、販売促進ツールとしてお客様への提供を開始。

海外サイト（アリババ）に出展し、インターネット販売、当社製品のアピールを行う。



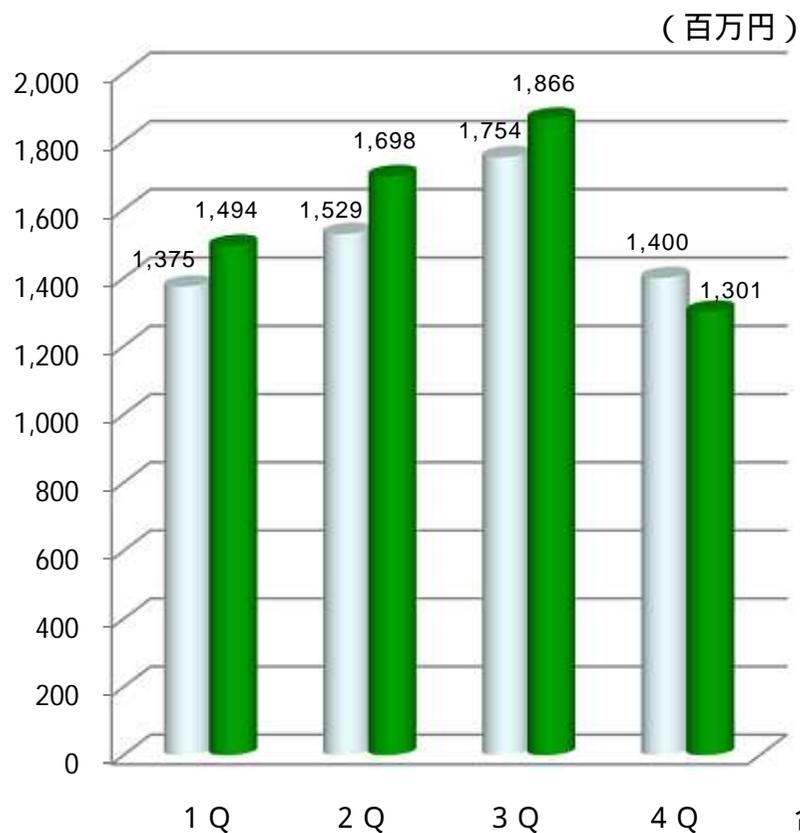
3 . 平成28年3月期 業績予想

- 連結売上高は、前期比300百万円の増収を見込む。
〔 業務用製品 7.3%増の2,960百万円 〕
- 米国子会社では、平成27年7月より現地生産・販売を開始予定。工場稼働に伴い人件費、減価償却費が増加する見込みであり、国内利益に対する法人税等の負担もあり連結業績は赤字になる見込み。
- 原材料の高騰、円安による影響から一部の原材料ではさらに値上げの実施が懸念される。
- 為替による影響は軽微と見込む。

連結業績予想

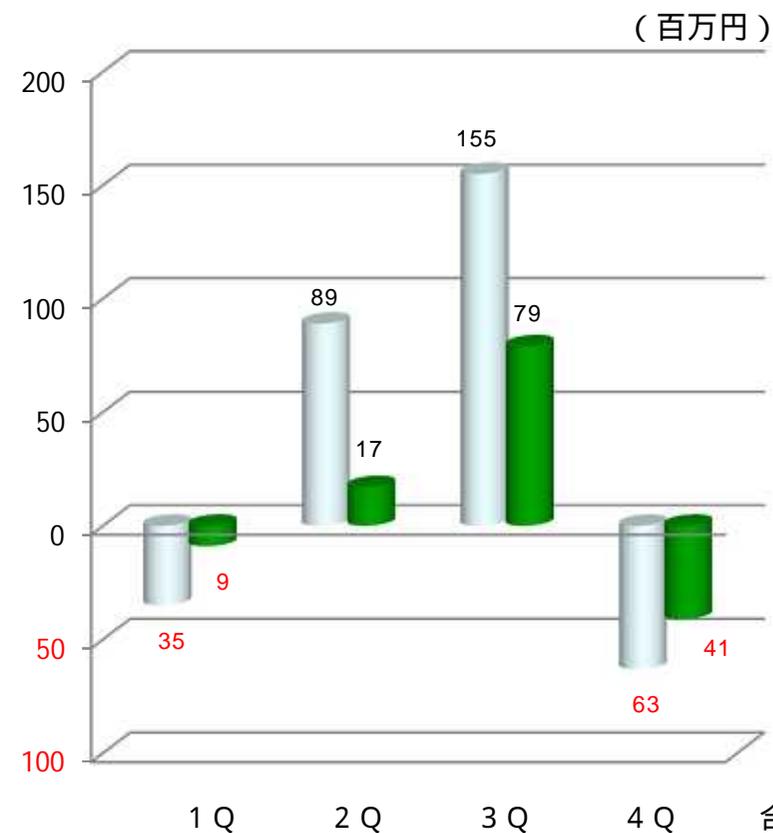
区分	平成27年3月期 (実績)		平成28年3月期 (予想)		対前年増減		コメント
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	前期比 (%)	
売上高	6,060,482	100.0	6,361,000	100.0	300,517	5.0	米国子会社では平成27年7月より現地での生産・販売を予定しており、前期比300百万円増を想定。
売上総利益	1,492,544	24.6	1,427,217	22.4	65,327	4.4	原材料の高騰、米国子会社での現地生産に伴い、原材料費、人件費、減価償却費の増加を想定。
営業利益	146,019	2.4	45,894	0.7	100,124	68.6	米国子会社での生産・販売に伴う販管費負担の増加を想定。
経常利益	312,034	5.1	32,191	0.5	279,843	89.7	為替による影響は軽微であると想定。
当期純利益	124,464	2.1	90,928	1.4	215,392		国内利益に対する法人税等の負担もあり連結業績は赤字と想定。

売上高



	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	合計
平成27年度3月 (実績)	1,375	1,529	1,754	1,400	6,060
平成28年度3月 (予想)	1,494	1,698	1,866	1,301	6,361
増減額	118	168	112	99	300
増減率	8.6	11.0	6.4	7.1	5.0

営業利益



	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	合計
平成27年度3月 (実績)	35	89	155	63	146
平成28年度3月 (予想)	9	17	79	41	45
増減額	26	72	76	22	100
増減率	-	81.0	48.8	-	68.6

品目	今期動向（実績）	来期動向（予想）
うま味調味料	5% ~ 15%	
生姜・にんにく等	5% ~ 10%	
ごま類	10% ~ 20%	
ラード・エキス	15% ~ 25%	
カツオ節	15% ~ 25%	
植物油	5% ~ 10%	

物価上昇、為替相場の変動による影響から主に左記の原材料が高騰。

今後も一部の原材料では、さらに約5% ~ 10%の値上がが実施されると想定。

また、天候不順による不作、世界的な食糧需給問題等の影響から原材料不足も懸念される。

**カイゼン活動に注力し、品質と生産性向上を目指すと
ともに購買業務の見直しを行い、原材料費の圧縮を図る。**

4 . 参考資料

当社では、株主様への利益還元、サービスの一環として 株主優待制度を導入しております。

- (1) 1単元以上10単元未満をご所有の株主様に、2,000円相当の北海道産品の詰め合わせを1箱贈呈致します。
- (2) 10単元以上をご所有の株主様に、5,000円相当の北海道産品の詰め合わせを1箱贈呈致します。



(優待品の一例。小樽で加工された干物。)



(パッケージを変更することがございます。)

(1) 会社の経営の基本方針

【経営理念】

- ・ 誠実な企業活動を通じて社会に貢献する
- ・ 常にお客様の満足度の向上を目指し風通しの良い社風の醸成を図るとともに絶え間なく業務の改革・改善に努める
- ・ 食文化の創造と発展を通して企業価値を創造し着実に利潤を追求して取引先・社員・株主の相互繁栄を図る

【経営ビジョン】

- ・ 業務用調味料メーカーとして商品開発・生産技術・品質保証体制で他社の追随を許さないプロのためのプロ企業として強固な財務体質と高収益を誇る小粒だが光り輝く高付加価値企業となる

(2) 目標とする経営指標

当社の利益配分の基本方針に従って、長期的な安定配当を維持継続し、企業価値の増大による利益還元を行うことに注力し、自己資本当期純利益率5%を目標とする

本資料に関するお問合せ



広報・IR室

TEL : 0 1 3 4 - 6 2 - 0 5 0 5

E-mail : IR@wakoushokuhin.co.jp